



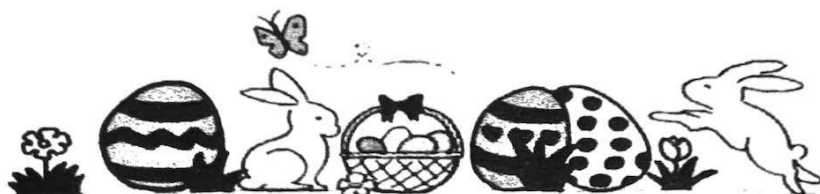
第261号 2025年 4月号

日本基督教団 梅ヶ丘教会会報

ぶどうの木

発行人 牧師 広田叔弘
企画編集 広報委員会
www.church.ne.jp/umegaoka/
2025年 3月23日発行

〒155-0033
東京都世田谷区代田 3-37-7
TEL : 03-3414-5772
FAX : 03-3414-5778



『卒業式に思う』

牧師 広田叔弘

ペトロは彼を見て、「主よ、この人はどうなるのでしょうか」と言った。イエスは言われた。「わたしの来るときまで彼が生きていることを、わたしが望んだとしても、あなたに何の関係があるか。あなたは、わたしに従いなさい。」

ヨハネによる福音書 21章 21～22節

3月7日(金)に東京神学大学の卒業式に出席しました。ある人は6年間、ある人は4年間、それぞれの学びを経て迎えた卒業式です。背後には、出身教会、出席教会、任地先の教会の祈りがあります。家族の大きな支えがあることでしょう。そして何よりも卒業式に意味を与えるのは、当人の「生き方」なのだと思えます。一枚の証書にこめられた神学校での日々は、決して軽いものではありません。

人生は、魂を磨く学校なのかもしれません。やがて、誰もが卒業の日を迎えます。日本人が好むのは大往生。志を果たし、家族に囲まれ、人生の苦勞と喜びを味わい、長寿の中を泰然として世を去っていく……。幸いなことです。けれども実際は、そのようなものではないでしょう。誰しもが幸いと共に幾つもの心の傷を抱えています。そしてある日、人

生は中断するように終わっていきます。多くのやり残しを置いたまま、この世を去るのではないのでしょうか。しかしこの中で、自分自身の軸となるものは欲しいと思います。

聖書は復活した主イエスとペトロの対話を伝えています。ペトロは新しく信仰を決断しました。後ろを見るとヨハネがついて来ます。そこで「この人はどうなるのでしょうか」と尋ねたのです。

歴史を辿ると、ペトロはローマで逆さ磔になったと言います。そしてヨハネは、使徒たちの中ではただ一人、殉教せずに長寿を遂げて世を去ったと伝えられています。対照的な二人です。そして主はペトロに「あなたは、わたしに従いなさい」と答えました。

人生に意味を与えるものは、それぞれの生き方なのでしょう。重要なのは、満足の度合いや成功の有無だとは思いません。主イエスに問いつつ、答えつつ、自分の道を歩むことだと思えます。

やり残しがあり、伝わらない思いがあります。しかし「私は常に主と共に生きて来た」この日々があれば、人は救われ思えます。そして主と共に生きて行くとき私たちは、やがて与えられる卒業証書を、感謝と共に胸を張って、受け取ることが出来ると思うのです。